

# コーチング解体新書

～やる気を引き出す源泉を探る～

その71 混乱させる、勇気ある？



猪俣 恭子  
中央大学文学部卒  
卒業後足利銀行に7年間勤務。窓口業務を経て、人事部研修グループで行内研修の企画・運営および講師を担当。退職後は家業の印刷会社に従事。2004年からはコーチングを用いた社内の人材育成を手掛け、「良質なコミュニケーションが実現されている現場こそがビジネスの成功をうむ」と実感し、2006年 Coaching Press 株式会社（現 株式会社 story 1）を設立、代表取締役として現在に至る。  
国際コーチ連盟プロフェッショナル認定コーチ  
財生涯学習開発財団認定マスターコーチ  
コーチエィCTPクラスコーチ  
米国CCE,Inc.認定 GCDF-Japanキャリアカウンセラー

先日、あることに感動した。それは千葉県内の小学校での体験だ。その学校ではキャリア教育に「職業人インタビュー」なるものがある。小学6年生たちが私たち大人に、仕事内容やどうやって夢を叶えたのか、どうしてその仕事をしたいと思ったのか、など複数の質問を用意してインタビューする。そうして小学生たちなりに「働く世界」を理解させる。そのインタビューされる大人の一人として参加した。その授業が始まる前に、校長先生がこう話された。聞いて驚いた！

「これが正しい、というのとは与えないでください。仕事は厳しい、辛い、そういう本当のことを話してください。答えを統一する必要はありません。大人によって言うことが違う、それで構いません。生徒を混乱させてください。ぐちゃぐちゃにさせてください。『あー、わからなくなっちゃった。』と頭を抱える生徒もいますが、それがこの授業の目的です。社会や国語には最後に『まとめ』というものがありますが、まとめるのは教師ではなく、生徒がこれからの人生で自分でまとめていけばいいのです。」

いいな、この先生！ここまで生徒たちを信頼しているとは…。私はどうだろう？ふと研修の場面が浮かぶ。自分の「考えや答え」を質問されるままに教えて終わりにしている…な。それは、アンケート結果をいいものにしたいという自分のためだ。反省する。続けて校長先生のたまう。

「生徒たちには、書き込んだ言葉が違うな、と思って消さないで書き足すように指導しています。でないと、正しい答えだけを残すようになってしまうからです。たくさん書き出す。そして担任の先生が、キーワードになる言葉を囲んで生徒に返すように指導しています。」

すごい、この先生。聞いていてわくわくする。隣のOさんにそっと話しかけた。「こんな校長先生がいるなんて驚きました。」「でしょ。だから敵が多いんだよ、この先生。」そうか、敵が多いのか。しかしながら。感動したのは、敵が多かろうが、外野がなんとおもうが、ぶれることなく信念を貫き通して今ここにいる、

ということだ。生徒が考え、悩み、答えがわからないもどかしさをもんもんと味わおうが、必ずいつかは自ら答えを出す時がくることを信じている。そういう大人を前に、子どもながら感じるものがあって応えようとするのだろう。自分の内側に答えがあることを信じられるようになっていくのかもしれない。

授業では、生徒たちが質問してはカリカリとシートに書いて、また質問してはカリカリと書きとめて…の連続だ。「小さい頃の夢は何ですか？」「探検家です。」ここはちょっと笑う場面でもある。が、「たんけんか」とカリカリと一生懸命書きとめる。「どうして銀行の仕事をしたと思ったんですか？」最初のうちは「あの当時は地元で就職となると、公務員か銀行か…くらいしかなかったから。」とぺらぺら答えていた。それも6回ほど繰り返されると、「本当に、そこしかなかったから、が理由？」と疑問がわく。そして気づいた。そう、私は、カウンターに座ってお客様の質問や要望に丁寧に答えていく、窓口対応の仕事がしたかったのだ。学んだ知識をもとにお客様に説明して喜んでいただく、そんな仕事をしたかったのだ。自分のこだわりを久々に思い出した。

そうか。同じ質問を何回も何回も繰り返し繰り返し問われ、考えて、話す。そうしているうちに、「真実」に近いことを思い出す。人の思考というのは、それだけやっかいなのだ。一回訊いて出てきた答えが「本当にそう」と決めつけていたところもあったなあ。一度訊いたことをまた訊くのは失礼だ、なんてこれも「相手からよく思われたい」と思っていた所以ではなかろうか。

「相手に答えがあることを信じている？」もしもためらいを感じたら、何がそうさせているのか、自分の心の状態を整えよう。それにしても校長先生、小学生たちから多くを学んだ。よし、来年、大切にしたいことは「答えが見つからず、もがいている相手を笑顔で見守る」だ。混乱させる勇気、持とう。自分に言い聞かせる。



株式会社 story 1

〒336-0021 埼玉県さいたま市南区別所6-17-17-310 電話 048-863-8914 FAX 020-4665-3162  
http://www.storyione.com/ (「コーチング解体新書」バックナンバーも掲載中!!)